

## 第3章 基本理念と目標

### 1 基本理念

## スポーツ元気都市さっぽろ

— スポーツを通じて、市民が、地域が、さっぽろが元気に —

札幌は、人口190万人を超える大都市ですが、郊外には豊かな自然があり様々なスポーツに親しむことができます。特に、冬季間は降雪量が6m近くなり、ウインタースポーツも楽しむことができます。これら札幌ならではの環境をいかし、我が国初の冬季オリンピックを開催するなど、様々な国際大会を誘致し、スポーツを通じたシティプロモートや国際交流に力を入れてきました。近年では、プロスポーツチームの本拠地にもなり、スポーツを通じて札幌市民としての誇りや一体感も生まれてきています。

一方で、市民のスポーツ実施率は徐々に向上してきてはいるものの、未だ50%に満たない状況や、子どもの運動機会の減少に伴う体力の低下にも見られるように、恵まれたスポーツ環境が十分活用されているとは言えません。

今後は、より一層、市民誰もがスポーツに親しめる環境を整えるとともに、スポーツ基本法の理念を踏まえ、札幌市における市民自治の推進や、活力と創造力あふれるまちづくりのために、スポーツを通じて地域コミュニティを醸成し、札幌の創造性を育み、経済の活性化に寄与していくことが求められています。

これらを踏まえ、札幌市スポーツ推進計画の基本理念として、スポーツを通じて市民が、地域が、さっぽろが元気になる「スポーツ元気都市さっぽろ」を目指すこととします。

## 2 3つの目標

本計画の基本理念である「スポーツ元気都市さっぽろ」を実現するため、次の3つの目標を定めます。

### 目標1 スポーツを通じて市民、誰もが元気に

市民、誰もが生涯にわたりスポーツを通じて、  
健康や生きがいを得る機会を保障する。

スポーツ元気都市さっぽろの実現のためには、市民自らが積極的にスポーツに関わり、親しむことが必要不可欠です。

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であり、市民が年齢や体力、経験、目的の違いに応じて主体的にスポーツ活動を行うことができるように、行政をはじめとする様々な団体が協働しながら、ソフト面、ハード面における必要な措置を講じていきます。

本計画の目標1は、市民の誰もが生涯にわたって、スポーツを通じて、健康や生きがいを得る機会を保障することとします。

### 目標2 スポーツを通じて地域が元気に

スポーツを通じて、人と人とのつながりや、  
地域コミュニティの絆を育む。

スポーツは、人々がその居住する地域において、主体的に協働することにより身近に親しむことができるようにするとともに、これを通じて、当該地域における全ての世代の人々の交流が促進され、かつ、地域間の交流の基盤が形成されるものとなるよう推進されなければなりません。

札幌市まちづくり戦略ビジョンでは、「創造的な活動により、活力あふれるまち」を基本目標に挙げており、スポーツからつくり出された人と人との交流がまちづくりに発展し、まちの活性化へとつながっていくことを目指しています。

これらを踏まえ、本計画の目標2として、スポーツを通じて、人と人とのつながりや、地域コミュニティの絆を育むこととします。

### 目標3 スポーツを通じて「さっぽろ」が元気に

環境などの特性や様々な資源をいかしたスポーツ文化を醸成し、  
まちの魅力を向上させる。

スポーツは、個人の身体と心の健康の維持や、地域コミュニティの醸成のために大切であるばかりでなく、札幌の気候風土や環境の特性、様々な資源をいかしたスポーツ文化を醸成することによって、札幌のまちの魅力を国内外に発信していくことが可能になると考えます。

札幌市まちづくり戦略ビジョンでは、「文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまち」、「市民一人一人が魅力を再認識し発信するまち」を基本目標に挙げています。

スポーツを、国内外の多くの人々を集めることができる魅力的な資源として、観光振興や国際交流などの様々な分野でいかし、さらに、食や観光など様々な産業分野と結び付けることで、新たな付加価値を生み出し、さっぽろ全体に賑わいと活力を生み出していくことを目指していきます。

平成 18 年（2006 年）には、「創造都市宣言」を行い、「創造都市さっぽろ」を都市経営戦略の大きな柱として掲げ、シティプロモートを展開しています。スポーツも、他の施策との連携により、札幌のまちの魅力発信の一翼を担っていきます。

これらを踏まえ、本計画の目標 3 として、環境などの特性や様々な資源をいかしたスポーツ文化を醸成し、まちの魅力を向上させることとします。

### 3 成果指標と目標数値

スポーツ元気都市さっぽろを実現するために、3つの目標ごとに具体的な成果指標を設定し、その目標数値を次のとおり定めます。

	成果指標	設定の考え方	現状値 (平成 24 年度)	目標値 (平成 34 年度)
目標 1	スポーツ実施率	市民のスポーツ実施状況を示す指標	41.2%	65.0%
	ウインタースポーツ実施率		11.7%	25.0%
目標 2	各区で実施するスポーツイベントの参加者数 <sup>17</sup>	地域におけるスポーツの機会を示す指標	31,522 人	50,000 人
目標 3	計画期間中に新たに開催する大規模な全国大会や国際大会の大会数 <sup>18</sup>	観光や経済への波及効果をもたらす機会を示す指標	—	10 大会

<sup>17</sup>【各区で実施するスポーツイベントの参加者数】各区で主催するイベントの他、共催・出賞しているイベントの参加者数を含む。

<sup>18</sup>【計画期間中に新たに開催する大規模な全国大会や国際大会の大会数】単一種目であるか複数種目であるかを問わず、参加人数として選手・役員・観客を合わせて数千人以上の規模の大会を対象として、計画期間中の実大会数とする。